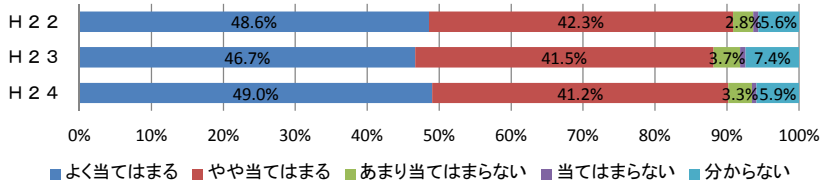


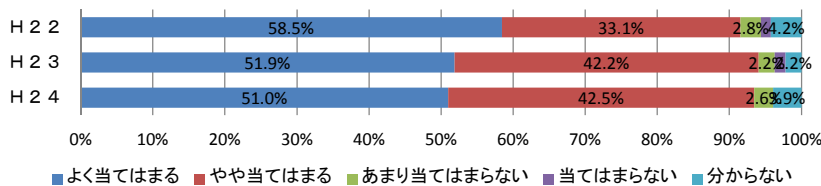
過去3年間の変化(保護者)

1. 学校は、子供1人1人を大切に、互いに認め合う学級・学校づくりに取り組んでいる



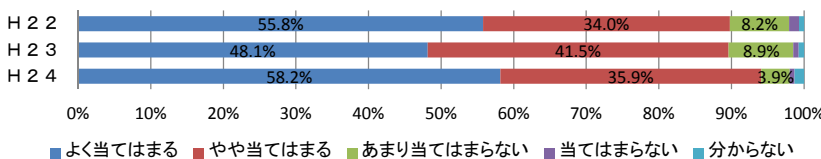
90%の保護者が認め合う学級・学校づくりに取り組んでいると、高い評価をしてくださっており、心強い。「当てはまらない1名」「あまり当てはまらない9名」のためにも、今後ともなお一層一人ひとりを大切にする教育活動に取り組んでいきたい。

2. 学校は、様々な取り組みや行事を通して、家庭や地域と連携し、子供の教育にあたっている



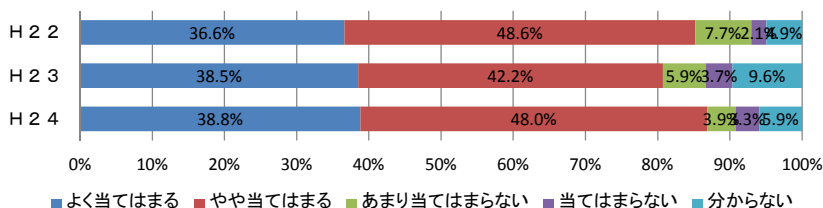
93.5%の保護者が家庭や地域と連携していると高い評価をしてくださっている。「当てはまらない」との回答も0であった。

3. 学校が保護者に出す文書・連絡などはよく分かり、適切である



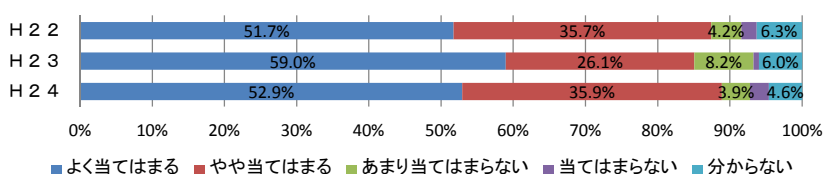
94.1%の保護者が文書や連絡が適切であると評価してくださっている。今後とも学校便り、学年だより、保健だよりによりタイムリーな話題を掲載するとともに、ホームページや一斉配信メールを使った速報性のある情報提供に心がけたい。

4. 学校は、「分かる授業」に努め、基礎的な学習の定着が図られるように取り組んでいる

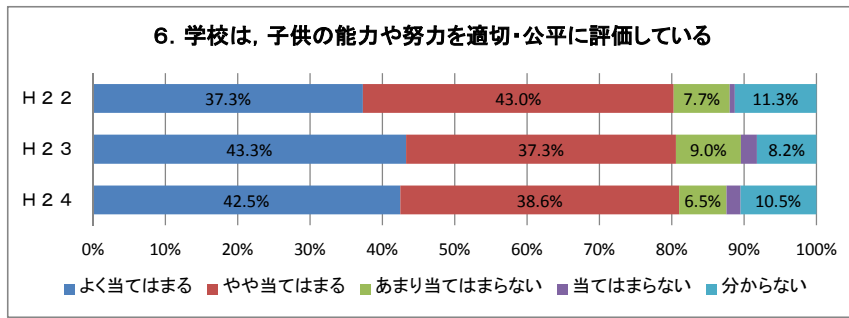


86.8%の保護者に評価されている。より一層分かる授業の実践に努め、「あまり当てはまらない6名」「当てはまらない5人」を減らしていきたい。

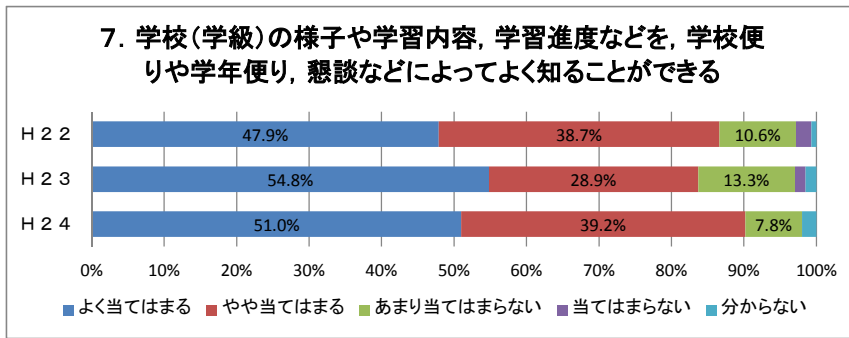
5. 学校は保護者からの連絡や相談に適切に応じられる



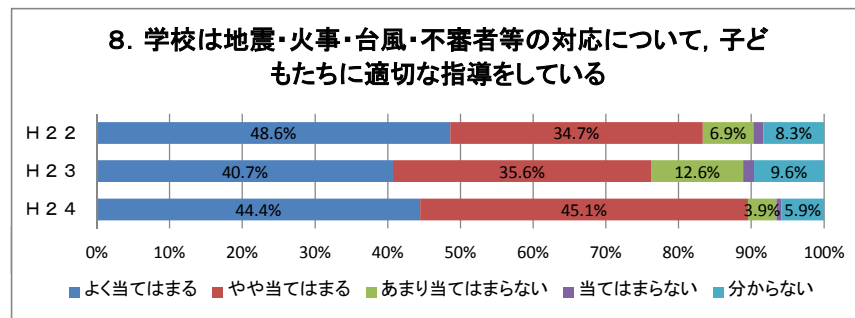
88.6%の保護者が評価してくださっている。「当てはまらない」と回答された方が4名いる。保護者の相談に対して、学校が相手の立場に立って話を聞けなかった可能性も考えられ、常に真摯に耳を傾ける姿勢を持続することが求められる。



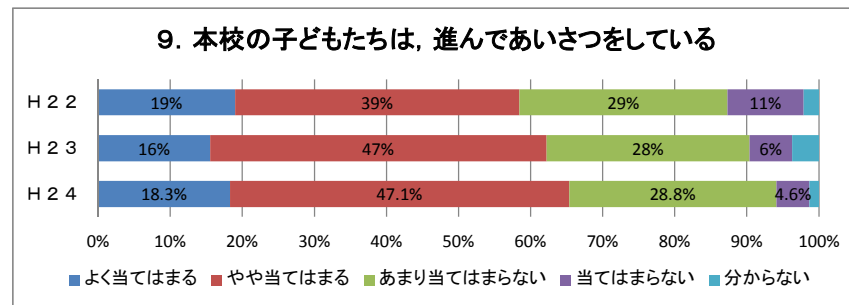
81.1%の保護者に評価されているが、その他の質問と比べて、約10%ほど低い評価にとどまっている。我が子の評価や扱いについて不公平感を持っている保護者も、少数存在する。事実に基づいた適正な評価と、しっかりとした説明が常に求められる時代になっているのだろう。



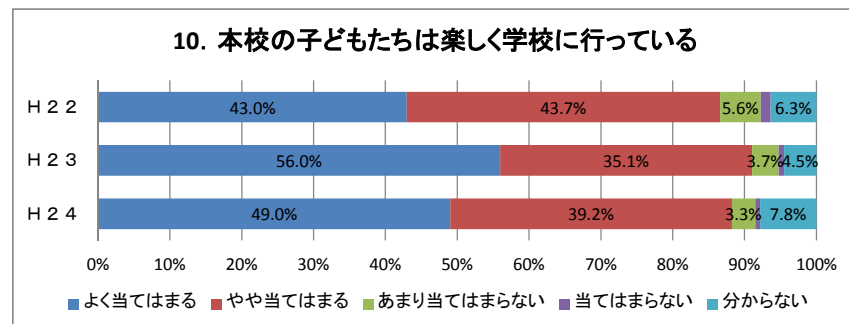
90.2%の保護者に評価されており、昨年度より微増している。「当てはまらない」との回答が0なのも素晴らしい



児童へのアンケートでは下がったが、保護者アンケートでは大きく評価を上げている。防災ずきんの常備や避難シミュレーションゲームなどの防災への備えが、高く評価されているのだろう。

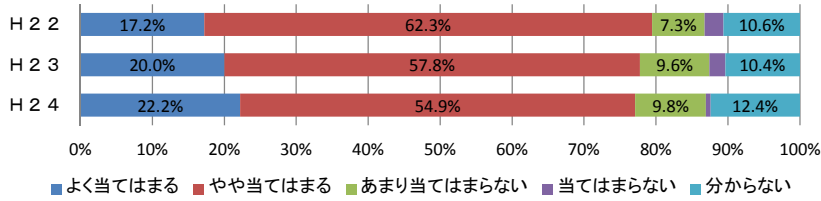


65.4%の保護者に評価されており、昨年度よりわずかによくなっている。児童アンケートでは95%ほどあり、両者の間に30%もの開きがある。家庭や地域であいさつをすることが今後の課題である。



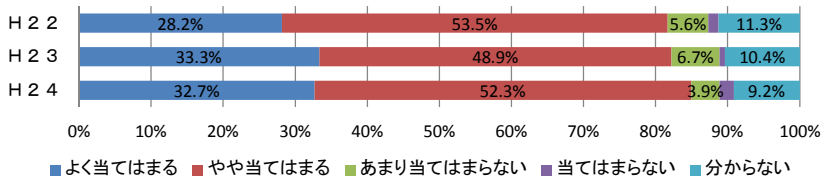
88.2%の保護者に評価されており、例年と変わらず高い評価を受けている。「当てはまらない」と回答された方が1名おり、気になるところである。

11. 本校の子どもたちは、善悪の判断をしっかりと、きまり正しく生活をしている。



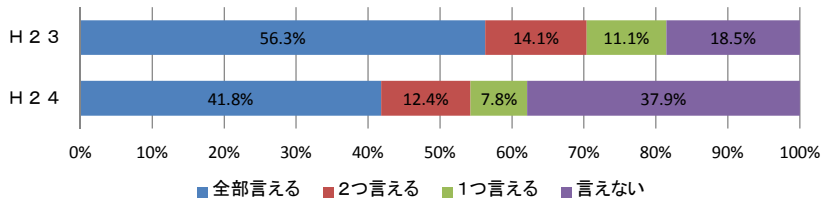
質問の言葉が少し変わったが、大きな変化はなかった。77.1%とその他の設問よりも低い評価となった。

12. 本校の子どもたちは、やさしく思いやりのある態度が見られる



85%の保護者が評価してくれており、昨年度より微増した。

スローガンの3つの言葉を知っている



スローガンが代わり、認知度は低くなった。3つとも言える方は41.8%にとどまった。学校だよりの下に入れるだけでなく、もっと積極的に広報する必要がある。